中小企業地域資源
活用促進法に基づく

ふるさと名物
Furusato Meibutsu

北海道千歳市
が応援するふるさと名物

『支笏湖チップの加工品』

～澄み切った水に生きる、支笏湖の天然姫ますを活用した新たな商品開発～

ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成３１年1月２４日

北海道千歳市

地域の
プロフィール

千歳市民の誇りである支笏湖は、約4万年前に支笏火山の大噴火でで きたカルデラ湖で、面積が国内8位、最大水深及び貯水量は国内2位の大きな湖です。

支笏湖の周囲には世界でも珍しい溶岩円頂丘（ドーム）が北海道の天然記念物に指定された樽前山（1,041m）のほか、昭和47年に開催された冬季五輪札幌大会で滑降競技の会場となった恵庭岳（1,320m）など1,000m級の山々がそびえています。

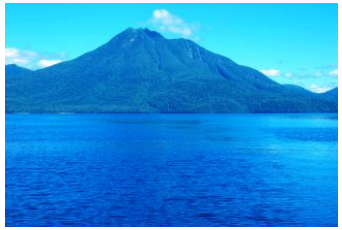
また、支笏湖は、環境省の湖沼水質測定結果で、これまで19回も全国1位に輝くなど高い透明度が自慢の湖です。

湖は春の新緑に始まり、チップ釣り、キャンプ、登山、サイクリング、紅葉で彩られる原始林等、多彩な季節の移り変わりがあり、湖畔にある温泉にも毎年多くの観光客が訪れます。

地域のみどころ

支笏湖

オコタンペ湖


恵庭岳

樽前山

（１）支笏湖
支笏洞爺国立公園に属するカルデラ湖で、長径13キロメートル、短径5キロメートルのほぼ東西に長いマユ型をしており、周囲約40キロメートル、最大深度約360メートル、平均水深約265メートルのきれいな湖です。秋田県の田沢湖に次ぐ日本で2番目の深度を誇り、「巨大な水がめ」と形容されます。その深さゆえ厳冬期にも凍ることはなく「日本最北の不凍湖」となっております。

（２）オコタンペ湖
恵庭岳の西山麓にある、せきとめ湖。湖の周囲5km、面積0.5平方km、最大水深20.5m、水面標高572m。
支笏カルデラ生成後の恵庭岳火山の噴出物が沢をせきとめて形成された湖で、支笏湖より300m以上高所にあり、湖の水はオコタンペ川となって支笏湖に注いでます。 ときには、エメラルドグリーンの湖水とともに神秘的な雰囲気に満ちています。

（３）恵庭岳
[標高：1320m／活火山]
頂上に岩塔を抱いた「恵庭岳」は、アイヌ語の「エ・エン・イワ＝頭の尖った岩山」という意味です。支笏湖畔のどこからでもその秀麗な姿を眺めることができます。登山道はポロピナイからの1本で山頂まで約5～6時間で往復できます。

（４）樽前山
[標高：1041m／活火山]
なだらかな山肌の上にまんじゅう形のドームをのせた樽前山は風不死岳、恵庭岳とともに支笏三山の一つに数えられています。ドームから大量のガスを噴出している活火山です。7合目まで車道はありますがバスの運行はありません。頂上までは1時間足らずの道程です。

ふるさと名物の内容

1

主な地域資源

支笏湖にしかない味 『支笏湖チップ』

「支笏湖チップ」とは、支笏湖産のヒメマスのことです。
ヒメマスは、淡水域に留まる湖沼残留型のベニザケのことで、明治27（1894）年、原産地の阿寒湖からここ支笏湖に移入されました。
ヒメマスの名前の由来は、明治の後期にさかのぼり、千歳ふ化場の技師が、この魚の銀色に輝く気品ある姿から「姫」と名付けたとされています。
北海道での地方名は「チップ」。アイヌ語で「薄い魚」を意味する「カバチェプ」が訛ったものだといわれています。

「支笏湖チップ」の味は別格。
ベニザケ譲りの鮮やかな紅色で、脂の乗った身。多くの川魚の脂っ気がなく独特な臭みがあるイメージには当てはまりません。
その味の秘密は、環境省の「公共用水域水質測定結果」で、湖沼部門のうち支笏湖が11年連続で日本一に輝いたことや、年間を通じて低い水温にあり、豊かな脂を持ちながら引き締まった身をつくります。
新鮮で脂の乗った「支笏湖チップ」を生で食べるなら漁期である6月から8月がベスト。足を運ぶだけの価値はきっとあります！

ふるさと名物の内容

2
ふるさと名物

『支笏湖チップ』の加工品

『支笏湖チップ』の魚醤

赤ワインのような深みをたたえたその色は、旨みたっぷりながら、軽くて臭みのない味わいです。
各種料理はもちろん、つけ醤油としてもぴったりです！

『支笏湖チップ』のクレープ

『支笏湖チップ』をフライにし、レタス、タマネギとともにクレープ生地で巻いてます。タルタルソースが『支笏湖チップ』のうま味とマッチし、さくさくした食感がポイントです！

市町村の取り組み

1 独自の支援策

◆中小企業振興融資制度

・運転資金や設備資金の融資にかかる保証料の全額を市が補給

◆地域企業販路開拓支援事業

・展示会やマッチングイベント等に出展する経費を補助

2 協議会事務局

◆千歳市観光スポーツ部観光事業課水産振興係

3 広報・タイアップ

◆『支笏湖天然ヒメマス』（支笏湖漁業協同組合　発行）
◆『透き通る神秘の泉　支笏湖』（国立公園支笏湖運営協議会　発行）
◆『ちとせ日和～北海道で空に一番近いまち～』（千歳市　発行）
◆『ちとせの観光』（http://www.welcome-to-chitose.jp/）
◆『支笏湖漁業協同組合』（http://shikotsuko-gyokyo.org/）